

地方創生

概要版

岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27（2015）年度～平成31（2019）年度

岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

『みんなが元気に輝く

たくましいまち岡谷』

長野県岡谷市

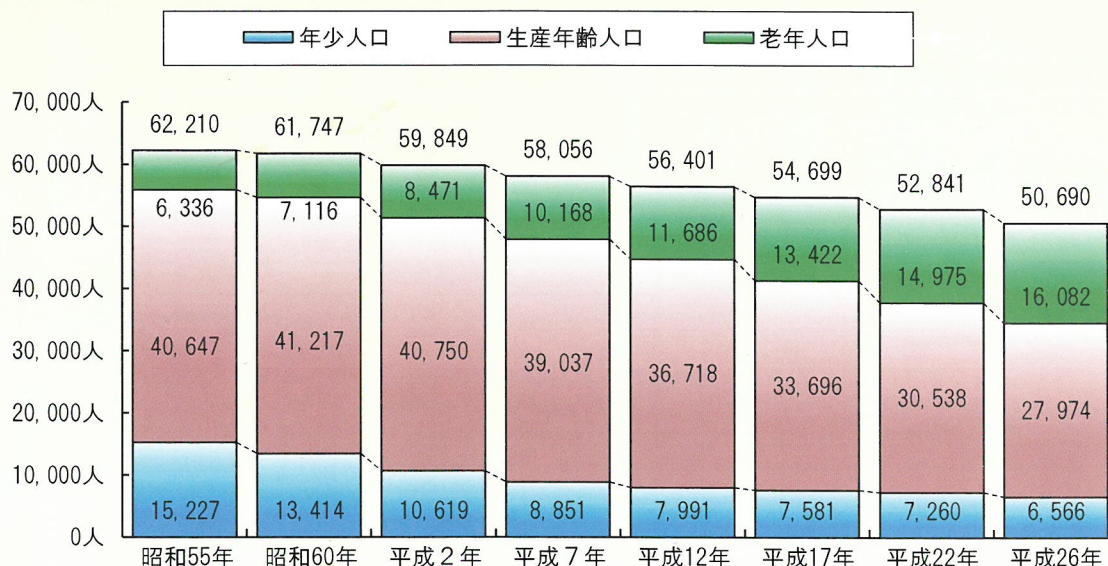
岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

(1) 岡谷市の人口動向

○人口の推移をみると、昭和55（1980）年の62,210人をピークに減少傾向となり、平成22（2010）年10月に行われた国勢調査では、52,841人となり、さらに平成26（2014）年10月1日現在では、50,690人でした。

○年齢3区分別人口をみると、生産年齢人口（15～64歳）は昭和60（1985）年の41,217人をピークに減少しています。また、平成7（1995）年には老年人口（65歳以上）が年少人口（0～14歳）を上回り始め、その差が広がっています。

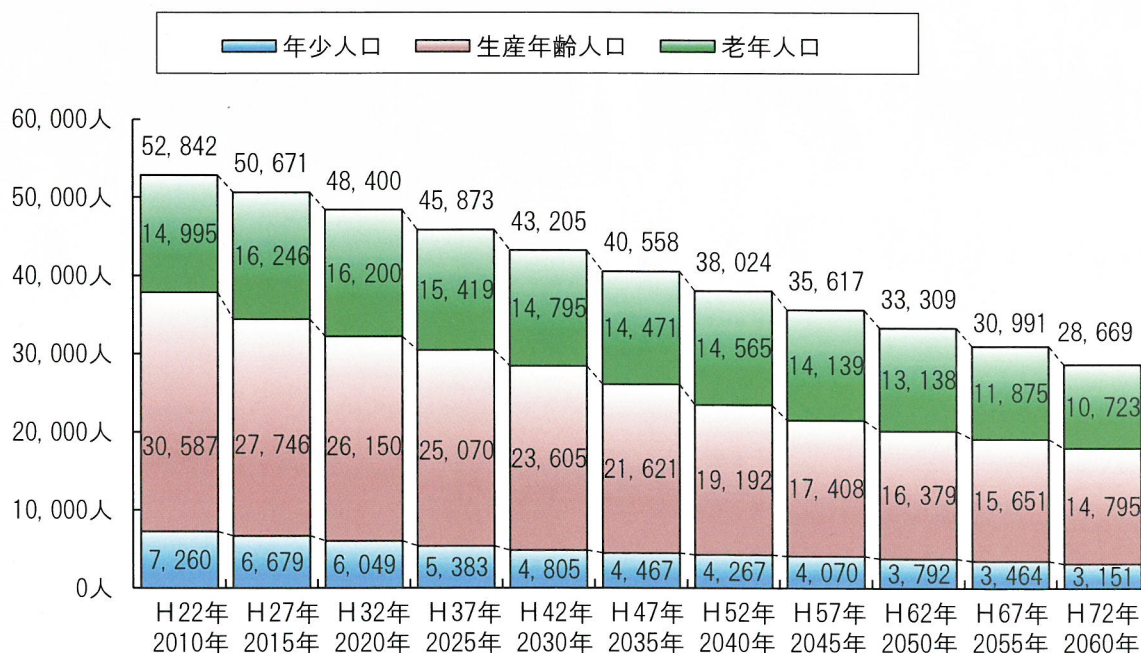
■年齢3区分別人口数の推移



(2) 岡谷市の人口推計

○国立社会保障・人口問題研究所推計に準拠した推計では、平成17（2005）年から平成22（2010）年の人口の動向を勘案し、移動率は今後縮小すると仮定した推計で、平成52（2040）年で38,024人、平成72（2060）年で28,669人となる見込みとなっています。

■国立社会保障・人口問題研究所推計



岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

アンケート調査から見える岡谷市の現状

(市民意向調査)

- 出産・育児に際しての心配は、経済負担が最も多い
- 子育てと仕事が両立できる職場環境整備が求められている
- 20歳代への結婚意識の啓発や異性と出会うきっかけづくりの支援が求められている

(転入・転出者の意向調査)

- 転出先として、買い物の利便性や土地・住宅事情が良いことを求めている

(高校生の意向調査)

- Uターン希望者は、就職ニーズにあった企業や職種を求めている

(首都圏の移住意向調査)

- 本市の認知度は約3割と高い水準ではないが、約2割が本市への移住に対して肯定的な回答をしている

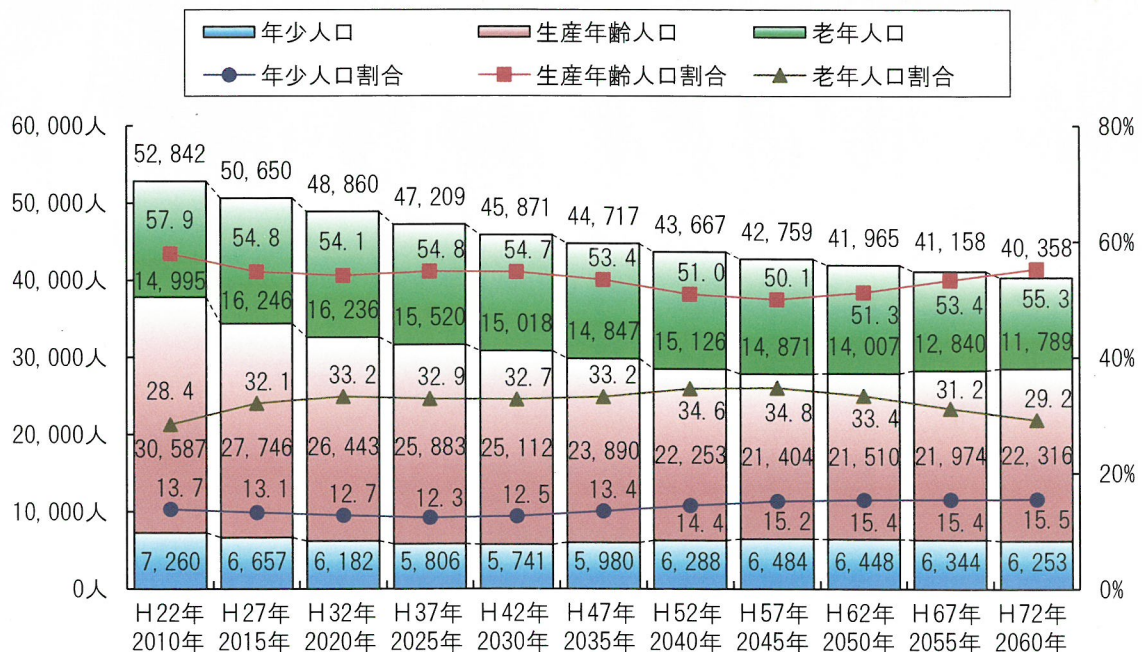
人口減少対策の方向性

- ものづくり産業の振興による働く場の確保
- 安心して子どもを産み育てることができる環境の整備
- 本市の魅力を市内外に発信

(3) 岡谷市の将来展望人口

平成72(2060)年 40,000人台を維持

■ 将来展望人口における年齢3区分別人口および人口割合の推移



岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本戦略Ⅰ たくましい産業創造戦略

～しごとをつくり、安定した雇用を創出する～

市外への人口流出を防ぎ、本市に人の流れを呼び込むため、基幹産業である製造業を中心にさまざまな既存産業の活性化に取り組むほか、企業誘致、新規創業や事業承継の促進により、しごとをつくり、安心して働くことができるよう雇用の創出を図ります。

■戦略目標

	現 状	⇒	目 標
粗付加価値額	1,314億円	⇒	1,400億円
全産業従業者数	22,850人	⇒	23,000人

■戦略の方向性

(1) 工業の振興	a. 企業立地の推進 b. 工業活性化の推進	c. 経営環境の充実 d. 産業の連携・交流
(2) 商業の振興	a. 商業者の育成 b. 商業環境の整備	
(3) サービス業の振興	a. 産業支援型サービス業の育成 b. 生活支援型サービス業の育成	c. 環境関連サービス業の育成
(4) 雇用対策の充実	a. 雇用対策の推進 b. 労働環境の充実	
(5) 女性の活躍推進	a. 女性が活躍できる社会の実現 b. 仕事と家庭を両立できる環境整備	

基本戦略Ⅱ 岡谷ブランド発信戦略

～魅力を発信し、新しいひとの流れをつくる～

シルクの歴史や文化、豊かな自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくりを進めるとともに、岡谷ブランドとして積極的に情報発信し、本市の認知度を高め、交流人口を増加させることで、移住、さらには定住意欲の醸成につなげます。

■戦略目標

	現 状	⇒	目 標
観光客数	465,700人	⇒	490,000人
社会動態の増減	▲334	⇒	▲70人

■戦略の方向性

(1) 岡谷ブランドの推進	a. 岡谷ブランドの構築 b. 岡谷ブランドの発信	
(2) 新たなシルク文化の創造	a. シルクをキーとしたブランド発信 b. 地域資源を活用した取組の推進	
(3) 観光の振興	a. 特色ある観光の推進 b. 観光受け入れ体制の整備	
(4) 文化を核としたまちづくり	a. 文化の振興	
(5) 移住の促進	a. 移住の推進 b. 宅地の整備	c. 住宅ストック（中古住宅、空き家等）の活用
(6) 公共交通網の整備	a. 公共交通の整備	

岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本戦略Ⅲ 輝く子ども育成戦略

～結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえる～

結婚や妊娠・出産は個人の自由な選択によるものであることを基本としつつ、男女が希望する年齢で結婚し、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえる施策を展開し、未来を支える輝く子どもを育成します。

■戦略目標

	現 状	⇒	目 標
出生数	349人	⇒	385人
子育てに対する市民満足度	3.0/5.0点	⇒	3.5/5.0点

■戦略の方向性

(1) 結婚に対する支援	a. 思春期からの保健対策の強化と健康教育の推進 b. 婚活に対する支援
(2) 母子保健の充実	a. 妊娠・出産に関する安全・安心への支援 b. 子どもの健やかな発達の促進と育児不安の軽減
(3) 子育て支援の充実	a. 地域とともに支える子育ての推進 c. 子育て家庭への経済的支援 b. 子育て支援サービスの充実 d. 相談支援体制の充実
(4) 学校教育の充実	a. 学習環境の整備 b. 学校・家庭・地域との連携
(5) 青少年の健全育成	a. 子育て土壌づくりの支援 c. 青少年活動の推進 b. 地域における健全な環境づくり d. スポーツによる健全育成

基本戦略Ⅳ 安全・安心の伸展戦略

～活力ある安全・安心なまちをつくる～

いつまでも住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って暮らし続けることができるよう、少子高齢社会に適応したまちづくりに取り組みます。

■戦略目標

	現 状	⇒	目 標
健康寿命	男性 79.96歳 女性 84.79歳	⇒	延伸
避難行動要支援登録者の個別計画の作成率	53.6%	⇒	100.0%

■戦略の方向性

(1) 健康づくりの推進	a. 市民が主役・市民参加の健康づくり b. 一次予防の重視 c. 健康づくりを支援する体制の構築
(2) 医療体制の充実	a. 地域医療体制の推進 c. 岡谷市看護専門学校の充実 b. 岡谷市病院事業の充実
(3) 地域福祉の推進	a. 障がい者支援の環境づくり c. 要援護高齢者対策の充実 b. 高齢者の生きがいづくりの推進
(4) 危機・防災・減災対策の推進	a. 防災・減災対策の推進
(5) まちの活力を高める市街地整備	a. 中心市街地への都市機能の誘導
(6) 地域コミュニティの醸成	a. 地域コミュニティの醸成

推進体制と進行管理

< 市民総参加による推進 >

- 市長を本部長とする行政の組織である「岡谷市まち・ひと・しごと創生本部」が中心となって取り組みます。
- 市民、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディアなど幅広い分野の方々に構成する「岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議」の意見・提言をお聴きします。
- 様々な機会を捉えて市民の皆さん等の意向を的確に把握し、積極的な参加と行動へ誘導します。

< 広域連携による推進 >

- 本市の単独での取組に加え、長野県、諏訪地域6市町村をはじめ、同様な課題や資源を持つ県内外の市町村と連携・協力して取り組みます。
- さまざまな分野でお互いの強みや特性を踏まえて連携します。

< 進行管理 >

P D C A サイクルによる進行管理

- 基本戦略ごとに設定した戦略目標や戦略展開のための施策ごとに設定した重要業績評価指標（K P I）に基づき、施策や事業の効果を検証し、必要に応じて施策や事業等の見直しを行います。
- 検証の妥当性・客観性を担保するため、「岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議」に検証結果を報告し意見を求めるとともに、施策や事業の見直しに活かします。

岡谷市の創生

この総合戦略に基づき、各種施策をバランスよく展開し、将来にわたって、岡谷市がさらなる発展を続け、市民誰もが安全で安心して、健康で生きがいを持って暮らすことができるまち。このまちに住み、働くことに誇りと自信、愛着を持てるまち。

そんな「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」を実現することで、人口減少や急速に進む少子高齢化に的確に対応し、岡谷市の創生をめざします。

▼お問い合わせ先

岡谷市役所 企画政策部 まち・ひと・しごと創生推進室
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8番1号
TEL 0266-23-4811